

Yさん

～家庭では二児のパパ。職場では皆を見守る優しいお兄さん。～



リハビリテーション部
作業療法士
記事作成時期：2025.2.22

OT課のお兄さん的な存在のYさんに、牧田での経験や、普段考えていることを聞いてみましょう。

1) OTになる前、どんな仕事をされていましたか？また、なぜOTの仕事を選んだのか教えてください。

10年間ほど和食の調理師として働いていましたが、心身ともに疲れ、限界を感じていたところ、弟もリハビリ職（PT）で、影響を受けました。両親、家族のサポートを受け一念発起し、再出発をすることができました。在宅支援の一環として主婦の患者さんが調理訓練をする際に、片手で包丁をどうすれば上手く使えるのかと考えました。調理師をしているからこそ分かる視点があり、前職が活かたと感じました。

2) 急性期と回復期のどちらも経験されていますが、リハビリの仕事をする上で、どんな違いがあると思いますか？

急性期は病気の治療と並行して行われる機能低下の予防が目的。例えば術後や発症初期から離床や基本動作、ADL訓練を行います。回復期は機能回復を目的としたリハビリと同時に、残存する機能が在宅復帰や施設に向けた退院支援を行います。また、OTの専門性として、高次脳機能障害を有する方への社会復帰へのフォローや、復職支援も他部署と連携し行う場合もあります。牧田総合病院の外来では、社会に戻るための支援をします。回復期では障害に「気付く」、「認識する」、「代償しながら生活する」というプロセスを支援します。どちらも経験できるのが、法人の魅力でもあります。

3) Yさんはお休みの日はご家族と過ごすことが多いと思います。仕事と家庭の両立の為に、工夫している事はありますか？

前の職場では、寝ている姿しか家族に見せていないような状況だったので、今は日中一緒に過ごせるのが嬉しいなと思い、仕事を家庭に持ち込まず、家族で過ごす時間を大切にしています。休みには趣味のウォーキングでリフレッシュし、メリハリもつけています。

直接は関係ない仕事でも、OTの仕事に活きることもあるんですね！ インタビューありがとうございました！

Oさん

～元気で明るい大田区印！～



リハビリテーション部
作業療法士
記事作成時期：2025.2.22

2024年度入職された社会人1年目のOさんに、牧田の魅力聞いてみましょう。

1) Oさんは昨春に大学を卒業され、社会人1年目ですね。OTになろうと思ったきっかけを教えてください。

私が高校生の時に母が入院し、その時のリハビリ職の方のおかげで、母に笑顔が戻ったのを見て、私もこんな風に誰かを笑顔にしたいと思ったのがきっかけです。大学のオープンキャンパスで、卵焼きを作れるようになった症例の話を聞いて、なんか魔法使いたいだなと思ってOTを選びました(笑)。実はSTは大学も合格したんですけど、母もカレーを作れるようになって、すごい嬉しいようにしていたイメージが強くて、最終的にOTに決めました。食べられない患者さんを食べられるようにしたり、トイレに行けない患者さんが行けるようになること本当にやって良かったなって思います。

2) 大田区で生まれ育ち、なぜ仕事も地元の牧田を選んだのですか？

一番の理由は、家をあまり出たくなかったからです。家から通える所で調べると、牧田は急性期も回復期も老健も訪問も全部あって、同じグループで色々な経験や地域にも関われるっていうのはすごくいいなって思って決めました。あと蒲田が好きです。治安悪いって言われてますがそんなこともなく(笑)、交通の便も良く、地元の友達も多いですし。

3) ぶっちゃけ、一緒に働く先輩たちはどんな人達ですか？

本当に優しい。褒めてくれるだけでなく、必要なことや自分に足りないことも言ってくれて、どうすれば良いのかが分かって成長できます。また、よくお喋りして仲が良いです。そのお陰で、より同僚のことを知れて、患者様の話もしやすくなります。医師や看護師さんとも、初めは怖いイメージでしたが、全くそんなことなく楽しくフランクに話せます。牧田の悪いところは、あんまり思いつかないです(笑)。

いつも楽しそうなのは、そんなルーツが影響しているんですね。ありがとうございました！

Nさん

～大田区育ちのOTホープ～



リハビリテーション部
作業療法士
記事作成時期：2025.2.22

勉強熱心でいつも朗らかなNさんに、なぜ牧田を選んだのか話を聞いてみましょう！

1) 牧田を選んだ理由を教えてください。

元々回復期リハビリテーション病院での勤務を希望していたので、その領域で転職先を探していました。私の地元は大田区で、地域の特性を幼いころから知っているからこそ出来るアプローチがあると思いました。そういった視点を活かして仕事がしたいと思い牧田リハビリテーション病院を選びました。

2) 実際に入職してみて、どう感じましたか？率直な気持ちを教えてください。

想像以上に施設が広く、リハビリ室のベッドの数も沢山ありますし、訓練をしていく中で環境が充実していました。特にADL室は浴槽があったり、洗濯機やテレビがあったり、色々な生活の家電や道具が揃っています。その中に福祉用具もあるので、患者様と一緒に生活のイメージや、色々な提案もやすかったです。家賃評価なども活かすことが出来ています。その他には、地域への活動も行っていて、認知症講座にも参加することが出来て、楽しく地域の方と交流することができたのも良かったです。また参加したいなと思います。

3) 牧田に来てから挑戦している事はありますか？

係活動（レクリエーション係）のリーダーに挑戦しています。今まではまとめる役割をしたことが無かったので、最初は看護師とのコミュニケーションや協力を図ること等、大変なこともありました。それぞれへの声かけの仕方やコミュニケーションの大切さを学び、リーダーとしてまとめていくことを経験できて良かったです。この経験を今後にも活かしていけたら良いなと思います。また、学会発表を2演題行う予定もあります！そちらも引き続き頑張って取り組んでいきたいです。

様々なことに挑戦していくNさんの今後が楽しみです。インタビューありがとうございました！

Mさん

～愛情・親切・丁寧の体現者～



リハビリテーション部
作業療法士
記事作成時期：2025.2.22

牧田の信念を貫く、患者様・スタッフ思いのMさん！牧田のことを聞いてみましょう。

1) 牧田の働きやすい所は、どんなところですか？

年代の垣根なく話しかけやすい雰囲気があると思います。上の世代から下の世代に話かけていますし、下の世代からも積極的に質問している姿をよく見ます。この雰囲気は入職当時から変わらず良いところだと思います。他には、頼もしい上司がいるところですね。現場で起きた問題や課題に対して役職者中心となり、解決しようという意識が高く、問題の根本を探って解決していくので、問題がそのままにならないことが働きやすいところだと思います。

2) どんなスタッフが多いですか？役職としてスタッフの関りで意識している事は何かありますか？

優しい子が多いと思います。また責任を持って仕事してくれるスタッフが多いと思っています。全体的に明るい雰囲気で作れているのはスタッフのおかげだと思います。意識していることは、スタッフが小さなことでも疑問に思ったり、伝えたいと思った時に話しかけやすい人でありたいと思っています。普段からも挨拶にプラスして一言会話を添える等意識しています。

3) OTとしてのやりがいは何ですか？

患者さんが良くなることや喜んでくれた時はもちろんですが、OTは幅広い所に目を向けられることが強みだと感じていて、そこが難しさでもあり楽しさでもあるなと思います。機能面が向上すること他にも、OTが考えた環境設定でADLが向上していくのもやりがいにつながっています。退院後のフォロー先の検討や生活管理に向けて指導を行っていく中で、患者さんの気持ちや意識に変化が出てくると、患者さんの力を発揮することの手伝いができたと思ったり嬉しく感じます。

患者様の意識が変わり、前向きに退院していくことは嬉しいですね。インタビューありがとうございました！